

レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

*Les Clefs d'Or Japan*

*Key News*



2022年10月 第57号

発行：住吉真矢子

編集：田中英司 今泉愛子 嵯峨崎のぞみ

Website : [lesclefsdorjapan.com](http://lesclefsdorjapan.com)



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

# GENJI KYOTO

## 源氏物語をモチーフにしたブティックホテル



文：森マリーアントワネット

GENJI KYOTOは鴨川と高瀬川に挟まれ、ノスタルジックな雰囲気を残す五条河原町に位置し、「源氏物語」を現代的に解釈した19室のユニークな京町屋ブティックホテルです。

ロビーに入ると、京都出身で国内外で活躍する和紙作家、堀木エリ子氏がデザインした和紙の窓に目を奪われます。和紙の上に銀箔を散りばめ、建物の外観と内観にドラマチックな光の効果を与えています。

総支配人の山口真央様とバイリンガルのスタッフの温かいおもてなしに迎えられ、ウェルカムドリンクをいただきながらチェックイン手続きを終えると、このホテルのメインデザイナーであるニューヨーク生まれで京都在住の建築家ジェフリー・ムーサス様のご案内でホテル内覧をする機会をいただきました。

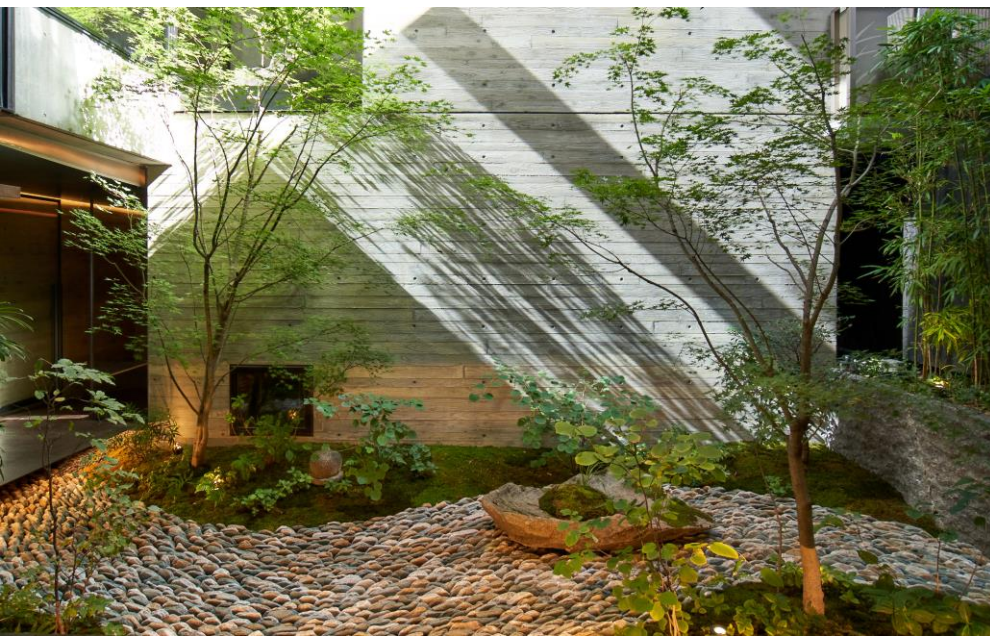
「GENJI KYOTOの建築コンセプトは、素材感や内装と外装の一体化を意識した空間手法によって、真の日本らしさを追求することです。これらの手法は、源氏物語の舞台となった平安時代以降、日本建築の中で何世紀にもわたって表現されてきたものです」とジェフリー氏は語ります。

GENJI KYOTOは国際的なデザイナーと地元の職人やアーティストとのコラボレーションによる愛の産物です。デザイナーは持続可能な素材を使用し、質の高い素材や物をリサイクルして再利用し、新たな命を与えることを使命としています。竹を敷き詰めたエントランスからロビーの浮舟庭園、畳とソファのある優雅な客室、各客室のユニークな坪庭、ひのきの浴槽がある岩盤浴室まで、すべての細部に伝統芸術と文化、最新鋭の設備を誇っているのです。

家具は、インテリアデザイナーのトミタ・ジュン氏がデザインし、京都家具の職人による手作り。「視覚的には和風、タッチとフィールは西洋的なモダンな心地よさ」これはトミタ・ジュン氏が成し遂げようとしている新しい京町家の形です。

心地よい眠りの後、翌朝は屋上の「スカイフォレストガーデン」で京風の和朝食を味わいました。美しい緑に囲まれた庭の静けさの中で、シェフのスペシャリテを味わうのは至福のひとつでした。京都に20年以上住んでいる造園家、作家、アーティストのマーク・ピーター・キン氏が設計したスカイフォレストガーデンは、東洋と西洋の哲学が調和しているのが特徴です。

最後にレ・クレドール ジャパンのメンバーに貴重な機会を与えてくださったブラッド・ウォルターズ様に心からの感謝を申し上げます。GENJI KYOTOは、人々が長居したくなる、そしてすぐにも戻りたくなるような特別な場所です。



### GENJI KYOTO

京都府京都市  
下京区波止土濃町 362-3  
<https://genjikyoto.com/>

# Getting to Know Our Members !

## グランド ハイアット 東京 小池 麻子

【コンシェルジュ歴：13年

【レ・クレドール歴：2年

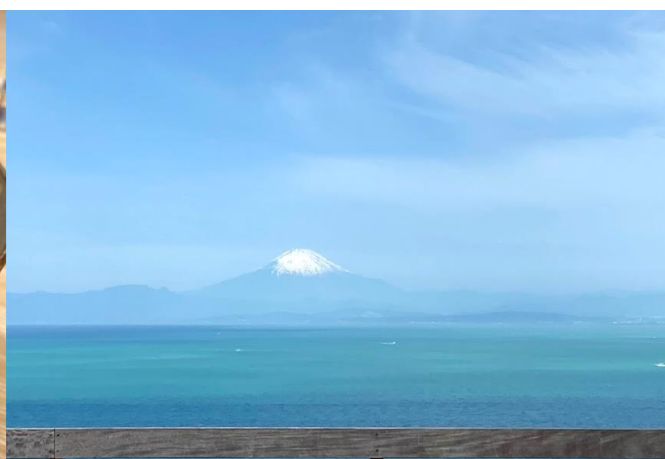
【ホテルのハイライト：六本木を中心に位置するグランドハイアット東京を一言で表すと「ダイナミック」。いつも何か新しい事が起きていて刺激的。来年で開業20周年を迎えますが、その間従業員としても常に飽きる事の無い華やかなホテルです。13の宴会場と10のレストラン・バー、数々のアートに溢れた館内はホテルでの時間をドラマティックに演出します。

【休日の過ごし方：休みの日は極力家族と一緒にの時間を楽しみます。娘2人が成長するにつれ行きたい場所が一致するようになり、買い物・カフェ・食事・ホテルステイ・ミュージカル・茶道・遠出等、一緒に楽しんでいます。コンシェルジュの母譲りの好奇心の高い娘達に今のトレンドを教えてもらい、私もBTSやTwiceのダンスを練習したり新しい世界を見せてもらっています。娘達は今にでも羽ばたきそうなので、一緒に過ごせる今の時間を大切にしています。



【とっておきの場所：神奈川県葉山の一色海岸は一番の癒しスポットです。穏やかな海の下に見える富士山を眺めながらのんびり散歩をしたり、家族や友人と地元の食材を使った美味しい食事とワインを囲む時間は格別です。あっという間に過ぎていく東京での慌ただしい毎日の中で、煮詰まった心と頭を浄化してくれ、明日への活力をもらえる場所です。穏やかな内海と山に囲まれ美味しい海と山の幸に恵まれた環境は故郷広島と共通しています。

【一番好きなカフェ：南青山にある江戸時代の茶碗専門店「アルテクラシカ」に定期的に通っています。オーナーから江戸時代のお茶碗を通して美術品の楽しみ方だけでなく、先入観をもたず感じる事の大切さを教えて頂き、美術館巡りが格段に楽しくなりました。又、自分の「好き」は何かを知り、本質を見る目、美意識を磨く、コンシェルジュとしても大切な時間です。手に取って見て感じるだけでなく、特別にそのお茶碗でお抹茶を一服頂ける事も。代々大切に受け継がれてきた江戸時代のお茶碗は、日本文化の奥深い美しさを教えてくれます。



## ホテル日航プリンセス京都 山田 裕美

■コンシェルジュ歴：16年

■レ・クレドール歴：5年

■**ホテルのハイライト**：京都のビジネスの中心、四条烏丸エリアに位置し、交通アクセスも大変便利な立地にあるホテルです。もちろんショッピングや食事、観光にも便利で、京都らしい街並みで有名な祇園や先斗町にも簡単にアクセスできます。歴史のある地域にあり、周辺一帯では毎年7月に日本三大祭の一つである、祇園祭が行われます。216室の落ち着いた雰囲気のお部屋と、あらゆるシーンに対応できる4つのレストラン、バー、そして6つの宴会場がございます。各国からのご宿泊のお客様はもちろん地元のお客様にも多くご利用いただいているホテルです。

■**休日の過ごし方**：お茶室で抹茶を頂くのが楽しみです。時計をはずし、静かに湯の沸く音に耳を傾けているととても心が落ち着きます。茶室は実際には小さな空間ですが、ここでは、季節や亭主のおもてなしの気持ちなど、いろいろなことを感じる事が出来ます。もちろん美味しい和菓子も大きな楽しみのひとつです。また、気候の良い季節には近くの山でハイキングを楽しみます。日頃の運動不足が解消され、きれいな景色と気持ちの良い空気に癒されるお気に入りの休日の過ごし方です。



■**とっておきの場所**：地元京都の鴨川が好きです。春には両岸が桜並木となり息をのむような絶景となります。新緑や紅葉、時には雪景色と四季折々に美しい姿を見せてくれます。散歩する人や、ジョギングする人、家族連れと地元の人にも人気の憩いの場です。遠景には北山や東山連峰、比叡山なども望め、自然に囲まれた京都の美しさを感じられる、とっておきの場所です。

■**一番好きなカフェ**：吉田山荘という料理旅館にある真古館というカフェが好きで、自然の中でゆっくりと過ごしたい時に伺います。京都市内の吉田山にありアクセスも簡単ですが、一歩敷地内に足を踏み入ると、緑に囲まれた静かな空間が広がります。この山小屋風のカフェからの景色は大変素晴らしく大文字山を始めとする周辺の山々が目前に迫ります。どのメニューも美味しいのですが、お土産として購入できるこうもりビスケットは特にお勧めです。シナモンの香りのするサクサクとしたビスケットでコーヒーにもとても合うと思います。



# ハイブリッド定例会開催

## September 日本酒情報館にて



今年度も明海大学ホスピタリティ・ツーリズム総合研究所の社会人セミナーに協力することが決まりました。

東京都ガイド育成事業に、住吉が講師として登壇するのに加えて、模擬ツアーへ帯同する役割を3名のメンバーが協力することとなりました。

丸山ひろみ氏より夏に行ったBYAKU Narai視察の報告がありました。

端谷舞氏より北海道視察の報告がありました。

定例会の会場をご提供いただいた日本の酒情報館 館長 今田周三様より、海外のお客様からみた日本酒の魅力についてご講演をいただきました。日本の酒情報館は日本酒、焼酎、泡盛等の情報を発信、酒造情報やイベント情報、セミナーの開催を行い、また常時100アイテムの試飲と購入ができる等、国内外から多くのお客様に日本のお酒の情報を発信しています。10年ほど前からはインバウンドの成長、輸出環境の変化、和食のユネスコ無形文化遺産登録等をきっかけに日本酒が注目され、海外の方からもより良い商品が求められるようになりました。現在も輸出額は伸び続け、近年では海外インフルエンサーの育成や日本酒コンペティション、ソムリエ協会との連携でフランスソムリエ協会のコンペティションではワインと並んで日本酒に関する知識も取り上げられるようになるなど、世界中で注目されるようになりました。今後再び多くのインバウンドのお客様をお迎えするにあたり、コンシェルジュも日本のお酒の魅力を海外のお客様に正しくお伝えしていく良い学びの時間となりました。

# October

## マンダリンオリエンタル東京

11月に行われるレ・クレドールジャパン25周年パーティーの詳しい内容のシェアがありました。

田中英司氏より、Roku Kyoto LXRホテルズ&リゾーツでのSDGsの取り組みについての報告がありました。ホテルで壊れた食器をお客様に金継体験として再利用してもらう等、京都ならではのユニークな取り組みがありました。

株式会社銀座もとじの代表取締役社長 泉二啓太様より、プレゼンテーションをして頂きました。和染と女性着物専門店、男性着物専門店があり、純国産の雄の蚕から取れた糸のみを使用したプラチナボーイや人間国宝の作品、重要無形文化財、日本全国から集めた選りすぐりの染織品等、貴重で確かな品質の商品を取り扱っています。

また、銀座の街にある柳の木から刈り取られ廃棄される葉を使用して柳染めを行ったり、銀座にある小学校の子供たちに柳染めの体験を提供したりとSDGsの取り組みや地域との繋がり、また職人とお客様を繋ぐギャラリートークを行っていらっしゃいます。今後は海外に発信していかれるとのことですので、是非この素晴らしい日本の伝統をコンシェルジュとして沢山の方に知っていただく発信をして参ります。

海外からの観光客受け入れが本格的に始まり、ホテル現場の状況が大きく変化しました。それぞれが抱えてる問題や課題、解決案の共有などのディスカッションを開催し、大変充実した時間となりました。

